

20世紀は子どもにとってどんな100年だったのか。
今世紀の総決算と21世紀の「子ども」を展望した保育者必読の書!!

子ども 100年のエポック

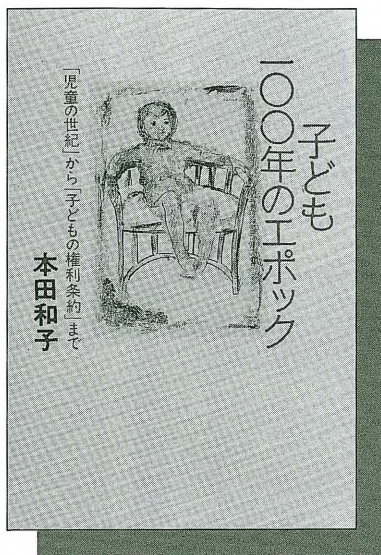
「児童の世紀」から「子どもの権利条約」まで

*本書は
『幼児の教育』の連載を
もとに
まとめたものです。

【内容】

この100年間の「子ども観」「子ども-大人関係」の変遷をたどりながら、20世紀の「子ども」を総括した一書です。

世紀の終焉期に頻発する子どもの不可解な事件や理解しがたい言動……これらが物語っていることは何なのか、そしてなぜいま私たちは「子ども」が見えなくなってしまうのか、保育の前提にある「子ども理解」を深めるのに役立ちます。



最新刊 !!

本田和子 / 著

四六判 280ページ 定価：本体2,000円+税

キンダーブックの
フレイベル館